呼び出しがあった。社長との会話を再現 「どうぞ」 「きいてくれ」 「言いたそうだから」 「あった」 ある日、突然、雲の上の人、社長から

立たされるもんだ」 「パパも立たされたことがあったんで 「だれでも一生のうちに一度や二度は 「どっちなんですか」 「なくもない」

たされたんですか?」 「ききたいか?」 「どんな断崖絶壁の窮地(ピンチ)にた

ときた」 なれば、きみはわが社の二代目社長だ』 妻は子どもの手を引いて、 て、結婚したいと言っとるんだよ。そう 『パパはよその小父さんになるのよ』と 『じつは、わしの娘がきみに一目惚れし 『リコンするとパパは何になるの?』 • 『へ!』とわたし。 『いいわよ』と妻。 『このとーり、わたしと離婚してくれ』 「で、土下座して妻に言った、 「それはピンチですね」 「ところがわたしには妻がいた」 そのとき二歳だった息子が で?

0 だったんだよ。 ときた」 ます』と言ったら、社長が、 小父さん、さようなら』、 「で、妻はどうなったんですか?」 「ピンチ脱出ですね」 と、二人は出て行った_ ははは、

かん。一目惚れしたのは、きみじゃなく『いやー、うちの娘はそそっかしくてい って、きみの隣の席の加山雄三って社員 『長い間お世話になりました』『よその 「次の日、社長に『慎んでお受け 笑っちゃうね 1

戻ってきたー」 着ですか」 にフラれて、子どもの手を引いてすぐに 「妻は再婚するつもりでいた不倫相手 「それでバカバカしい 断崖絶壁、

『はい、わたくしが山田社員です』

『きみが山田社員か』

「その二歳の子って、ぼくですか?小父 「そうだ」 「そうだ」







□の中に漢字を埋めて 四字熟語を完成させてください。